Chikyu Hakken

地球発見

2011年3月11日　東北地方太平洋沖地震発生!!

いったい地球深部探査船「ちきゅう」で何が起きていたのか?

CLOSE UP

高橋あんずの
「ちきゅう」
体験レポート

Vol. 14

CLOSE UP

高橋あんずの
「ちきゅう」
体験レポート

ちきゅう

2011年3月11日　東北地方太平洋沖地震発生!!

いったい 地球深部探査船「ちきゅう」で何が起きていたのか?

・・・・
はじまってますよ
レポ
はい！
紹介するのは
ワタクシ
高橋です！
そして隣は
「ちきゅう」
つぶやき編集長！
・・・・
取材つづきで寝不足
レポ

JFASTの
研究メンバーは
どんな方が
いらっしゃるの
でしょう？
下船してきた
ばかりのメンバーの
素顔をのぞいて
みましょう
レポ

公用語はもちろん
英語です
（船内でも）
ペラペラ
ペラペラ
地震学だけでなく
微生物学や地球化学
などの専門家も
参加しています
全然
わからない
・・・・・
うっ
レポ

思ったより
女性が多いん
ですねえ！
ええ
今回は女性が
多く乗船して
います
女性が多くて
意外でした
広報
小俣珠乃さん
レポ

驚いたのは

日本人同士も英語で話しているということ

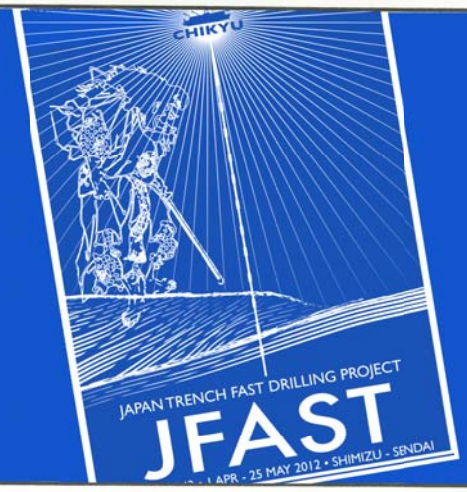
（いちいちカリ替えるのが面倒とのこと）

あれ？皆さんお揃いのTシャツですね

はい これは今回の航海記念Tシャツです

共同首席研究者 James J. Mori さん

地震をしずめる神様がモチーフになっています



とてももの静かなジム・モリさん

・・・に対して

もうひとりの共同首席研究者フレデリックさん

オー！マンガ

言葉を越えてマンガを気に入ってくださったようです

日本語がわからないけど絵が「ちきゅう」のことを説明しているのがよくわかる・・・・・ですって

アメリカに持って帰るですって

サインサイン

サイン オ・・・オーケー

とても陽気な彼ですが航海中の日々神妙な顔をされていたとのこと・・・

陽気

共同首席研究者 Frederick Chester さん

限られた時間で
限られた試料
（コアサンプル）
から情報を読み解き
自らの研究を
まとめて
成果を出さなければ
ならない研究者

ものすごく
プレッシャーが
かかるのは
容易に想像できる

しかも今回は
なかなかコアが
上がって
こなかったため

断層部分の
コアが採れた時は
さぞホッとした
ことでしょう

構造地質学者
氏家 恒太郎さん

さて
研究者の皆さんは
「ちきゅう」に
乗船して研究のみを
している訳では
ありません

一般の方と
同じように
勤務時間外に
休憩したり
リフレッシュ
したり
しています

ノープ
ノープ
ノープ
何事・・・!?
「ノブ」コールをされる
人気者の江口暢久さん
オォ～ッ
研究支援統括
江口 暢久さん
江口さん
オーラが
すごい・・!
※研究支援統括とは
研究航海がスムーズに進むよう
尽力するお仕事です
江口さんは
戦隊モノを
やるなら
絶対レッドの
ポジション
です
※れっきとした
日本人です
ホントに
色んな
国の人が
いるんですね
そうですね～
船内は小さな地球の
ようです
(「ちきゅう」だけに)
ワイ
ワイ
ちきゅう
よろしく
お願い
します!
「地震断層のコアを
とる」だけでなく
大水深で掘削し、
科学技術の発展
にも貢献している
「ちきゅう」
ちなみに
今回の「ちきゅう」は
掘削に使うドリルパイプが
海洋科学掘削史上最長の
7752・31mに
達しました
信じられない
長さですね・・・
クラッ
約7km
約1km
まかせて!
ちきゅう
世界の英知を
結集して
地震発生のさらなる
理解につながれば
いいなあと
思いました
END